



**岡田生花店**  
**ベルポート汐入店**  
 営業時間AM10~PM7時  
 水曜定休  
 電話・FAX 3802-8716

夏休みも終わり朝晩と少しづつ秋の気配を感じるようになってきました。これから時期は秋の花鉢もたくさん出荷される時期です。

今月は秋の花鉢についてお話したいと思います。

◇コスモス

秋に回る花といえはまず思いつくのはコスモスだと思



います。コスモスはキク科の一年草です。原産はメキシコです。秋桜と書くように5弁の春の桜を大きくしたような形をしています。色も薄いピンク・濃いピンク・白・ふちどりのものやチョコレートコスモスと言う茶色でビターチョコレートのような香りのする物もあります。そのほかにもキバナコスモスのオレンジ・黄色があります。花鉢ではなるべく風通しが良く日当たりのいいところに置いて花が終わったら花ガラは取ります。

◇リンドウ

青い細長い花を線状につける多年草です。切り花でもよく見かけると思っています。最近では品種改良が進み青・白・ピンク・2色のものなどがあります。花鉢では主に青いリンドウが出回っています。リンドウは根が極度に乾燥すると生育に支障が出るので

水を切らさないようにします。そして日に良く当てます。ただし、真夏は直射日光を避けて明るい日陰に置きます。来年も花を咲かせる為には色が変色したりした花は茎から取ってしまいます。冬になって茎が枯れてきたら土のすぐ近くで切ります。1〜2年に一度一回り大きな鉢に植え替えます。

◇カラコエ

色の種類が豊富にあり育てかたも簡単です。最近では八重咲きもあります。葉が肉厚なので水やりは10日に1度位です。水のあげすぎは葉がポロポロと落ちたりします。夏に新芽を摘んでおくと脇芽が成長して枝が増えるので花の数が増えます。花が終わったら花の付け根から切ります。カラコエは短日植物（日が短いと花芽を付ける植物）なのでできるだけ暗い時間を多くすると花芽が付きやすくなります。春から秋にかけては屋外でもよいのですが日差しが強い夏は日陰に移して葉が焼けるのを防ぎましょう。冬は室内に入れて10度以下にならないようにします。そして蛍光灯などの人工の明かりが当たらないようにすれば花芽が付きやすくなります。

◎今月の定休日は7・28日です。14・21日は営業します。

甲斐京子ダンス&ソング

サンパール荒川大ホール  
 9月18日(日) 午後2時半開演  
 S席3500円・A席2000円  
 お申込 電話(3895) 3166

すまいるたんふれあい亭

9月4日(日) 9月11日(日) 12時半〜  
 会費百円 初回歌集代500円  
 瑞光ひろば館

南千住警察署よりお知らせ

◇ひったくりの実態(平成22年中)

都内の認知件数は1812件、被害者の92%は、女性で、特に20代の若い女性の被害が増えています。

犯人の犯行手段は、バイクが約6割で、後方から追い越しざまに素早くひったくりまします。ひったくられた勢いで転倒し、重傷を負う事件も発生しています。



【3つの用心】

- ・バイク音がしたら、振り向いて警戒しよう。
- ・犯人は顔を見られることを嫌います。バックは建物側に持とう。
- ・建物側では、簡単にバッグを取られてしまいます。
- ・自転車のかごには、防犯ネット・カバーを付けよう

防犯カバーですっぽりかごを覆ってしまえば、狙われることもありません。外出中はいつでも 自分もひったくりに遇うかもしれないという防犯意識を持ちましょう。

◇万引きは犯罪だ!

見つけたらすぐに110番!



平成23年1〜7月において南千住警察署管内では万引きは23件発生しております。毎月20日は万引きゼロの日です。

【万引きをしない勇気とさせない社会】

南千住警察署(3805)0110

荒川消防署よりお知らせ

救急医療週間9月4〜10日

9月9日は救急の日です。

救急医療週間は、救急医療と救急業務に対する都民の皆様の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識を高めることを目的に、毎年9月9日を含む日曜日から土曜日までの1週間に行っています。

◇東京消防庁救急相談センター

(#7119)

「救急車を呼んだほうがいいのかな?」「病院に行ったほうがいいのかな?」などケガや病気で迷った時は#7119へお電話ください。相談医療チーム(医師、看護師、救急隊経験者等の職員が24時間・年中無休で対応しています。病院案内はお近くの消防署にもお問合せ頂けます。

荒川消防署(3806)0119

◇救命講習

適切な応急手当によつて尊い命が救われた事例が数多く存在します。前回の講習修了後2〜3年が経過されている方、救命講習を受講したことがない方は、これを機会に救命講習を受講し応急手当の方法を身につけましょう。

◇救急車の適正な利用について

救急車は、救急要請場所から最も近い出場可能な救急車が出場しますが、件数が増えると遠方から救急車が来ることになり、到着までに時間がかかり救える命が救えなくなる可能性があります。救急車は真に緊急性がある時に利用することが大切です。

☆救急フェアのご案内

日時 9月10日(土) 10時〜12時

場所 LaLaテラス南千住

内容 AED・心配蘇生法講習・救急相談・血圧測定コーナーなど

急相談・血圧測定コーナーなど